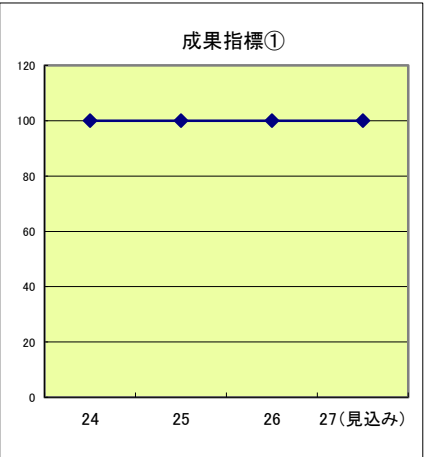
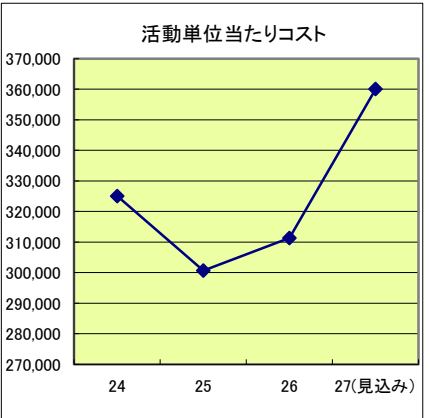


事務事業名			公園管理事業	予算科目	会計	1	一般会計	
総合基本計画	まちづくりの目標(章)	1	安全・安心、快適で住みやすいまち		款	8	土木費	
	施策(節)	10	公園・緑地・緑化		項	4	都市計画費	
	施策の方向	(3)	身近な公園の管理体制の充実		目	3	公園費	
					事業	2	公園管理	
関連する計画等					作成部署	土木部道路公園課		
					(連絡先)	072 - 958 - 1111 内線 2232		
事業の概要(目的・内容)		目的 ・市民が安全で快適に利用できるよう適正な維持管理を行う。 主な事業 ・公園、緑地の定期安全点検 ・日常清掃・公衆トイレ等の管理委託 ・老朽化による施設や遊具の修繕及び維持補修 ・公園、緑地内の植栽の剪定や灌水、芝生の刈り込み ・病害虫の駆除等の管理作業 ・公園駐車場の管理運営						
根拠法令等		都市公園法、同施行令、羽曳野市公園条例、同施行規則						
事業期間		☒ 10年以上 ☐ 5年以上10年未満 ☐ 5年未満（平成 年度開始）						
事業開始時から の状況変化		老朽化による施設、遊具等の修繕費や改修費が増加している。また、公園管理面積の増加に伴い、樹木の剪定や病害虫駆除、芝刈り等の管理費用も増大している。						
実施手法		☐ 直営 ☒ 一部委託 ☐ 全部委託 ☐ 補助金・助成金 ☐ その他()						
委託先		☒ 市外郭団体委託 名称(羽曳野市シルバー人材センター)			委託内容			公園施設点検業務、清掃業務
		☒ 民間委託 ☐ その他						

区 分		24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込み)
事業費【1】 (千円)		46,006	44,584	47,010	55,990
人件費【2】 (千円)		19,000	15,550	15,251	15,663
職員数	正規職員	1.90 人	1.40 人	1.40 人	1.35 人
	再任用職員	人	人	人	0.20 人
	嘱託職員	人	人	人	人
	臨時職員・非常勤職員	3.10 人	3.10 人	3.00 人	3.00 人
超過勤務(参考) (時間)		時間	時間	時間	時間
総事業費 (【1】+【2】) 【A】 (千円)		65,006	60,134	62,261	71,653
財源内訳	国庫支出金 (千円)				
	府支出金 (千円)				
	市債 (千円)				
	その他 (使用料・手数料等) (千円)	4,450	4,665	3,775	
一般財源 【B】 (千円)		60,556	55,469	58,486	71,653
活動指標 (事業の活動実績) 【C】		24年度	25年度	26年度	27年度 (見込み)
① 管理公園・緑地数	箇所	200	200	200	199
② 施設・遊具等修繕請負件数	件	112	112	45	91
活動単位当たりコスト (【A】÷【C】①)		325,030 円	300,670 円	311,305 円	360,065 円
活動単位当たり一般財源額 (【B】÷【C】①)		302,780 円	277,345 円	292,430 円	360,065 円
市民1人当たりコスト (【A】÷人口)		555 円	516 円	539 円	625 円
一般財源【B】の推移(前年度比)			▲ 8.4 %	5.4 %	22.5 %
※前年度比5%以上変動している要因(該当する場合のみ✓)		☐ 1. 制度改正・事業の見直しなど ☒ 2. 左記1)によらない対象件数などの増減			
		☐ 3. 物価・賃金水準などの変動 ☐ 4. 国庫支出金など特定財源の増減			
※該当項目すべてに✓		☐ 5. その他()			



成果指標 (事業の達成度)	指標名		単位	平成24年度		平成25年度	平成26年度		平成27年度
	① 公園修繕率	(式又は説明) 修繕対応件数÷要望等件数×100	%	目標	100	100	100	達成率(%)	100
				実績	100	100	100	100.0%	
	② 公園安全管理率	(式又は説明) 無事故日数÷年間管理日数×100	%	目標	100	100	100	達成率(%)	100
				実績	100	100	100	99.7%	

市の関与の必要性	市の関与が必要な理由									評価
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	必要性
	法令上の義務	受益者が不特定多数	最低限の生活水準を確保	市民の不安を解消	社会的経済的弱者を対象	民間だけでは負担しきれない	民間だけでは供給不足	市の特色等を市内外へ発信	第三者にも受益がある	有
	○	○		○						

分析・評価	視点	分析のためのチェック点	はい	いいえ	該当なし	分析・評価の説明
	妥当性	市民ニーズが高い（事業の拡充・継続の要望がある、又、活動指標が増加傾向にあるなど）	☒	☐	☐	市内199箇所の公園・緑地を市民が安心して利用してもらえるよう適正に管理することは、市の義務であり重要な事業である。
		市民ニーズと比較してサービスの対象範囲や水準が適切か	☒	☐	☐	
		他市の水準と比較しても、対象範囲や水準を見直す必要がない	☒	☐	☐	
		事業を縮小、又は廃止・休止した場合の影響度が大きい	☒	☐	☐	
	効率性	活動単位あたりコストが適切である（経年比較など）	☐	☒	☐	施設・遊具の修繕や点検など安全面に関する事務は市が行っている。定期点検や清掃業務などはシルバー人材センターに、また規模の大きな公園の植栽管理は、景観に配慮し、作業のスピード、作業中の利用者への安全面などを考慮し、専門業者に委託することでコスト抑制と安全維持を図るなど常に総合的な視点の中、効率性の追求に努めている。
		使用料・手数料等の受益者負担の割合は適当である	☒	☐	☐	
		人員を削減する余地がない	☒	☐	☐	
		事業費を削減する余地がない	☒	☐	☐	
		国・府の事業や市の他事業と重複していない	☒	☐	☐	
		市の他事業との統合や、事業の簡略化の余地がない	☒	☐	☐	
		民間活力（民間委託、NPO・ボランティアなど）の活用について検討の余地がない（すでに活用しており、拡大の余地はないを含む）	☐	☒	☐	
	協働性	事業の企画や実施にあたり、市民の意見を反映しているか、又、参加、協力が得られているか	☒	☐	☐	市が管理する公園・緑地は199箇所に及ぶため、清掃活動や施設・遊具の安全管理面での情報提供など、市民の協力の下で適正に管理が行われている。
	有効性	成果指標の実績値は目標値以上である	☒	☐	☐	施設・遊具等適正に管理することは、市民の安全を確保し憩いの場を保つために必要であり、有効性の高い事業である。
	達成度	成果指標は前年度より向上している	☒	☐	☐	市民からの修繕要望には、100%対応できている。事故等もなく適正に管理を行っている。

担当部局評価	総合評価	
	☒ 継続 ☐ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止・休止 (概ね現行どおり継続して実施) (実施方法の改善を検討する) (事業規模の縮小を検討する) (廃止・休止を検討する)	
	今後に向けて(取組方針・具体的な改善改革案など)	
	今後、公園施設の経年による老朽化により増加が予想される維持管理経費については危惧を持っているところであるが、市民との協働や職員による修繕対応範囲の拡大等によるコストの抑制など、より一層の効率性を追求するとともに、高齢者や障害者等の社会的弱者に対応できるようなバリアフリー化や遊具・施設の点検、修繕個所の迅速な対応強化など、利用者の利便性、安全面の確保に努める。なお、身近な公園については、地域ニーズを十分に反映した市民参画による管理運営を検討する。	
行革本部評価	総合評価	評価理由・意見
	☐ 継続 ☐ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止・休止	